

リハビリテーション天草病院だより

2019年1月

No. 89



発行 埼玉県越谷市平方343-1 / (医) 敬愛会広報委員会

地域医療における当院の立ち位置

医療法人敬愛会理事長 天草 大陸

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

年の始めに当たって、今一度当院の地域で果たす役割について整理したいと思います。

■そもそも「地域」とは何ぞや

医療界では次の4区分で「地域」を定義しています。①日常生活圏＝中学1～2通学区を対象として、「かかりつけ医(診療所、クリニック)」の役割や、今、盛んに議論され実行されつつある医療と介護の相互乗り入れなどの地域包括システム構築の中での在宅医療の在り方などが対象。②一次医療圏＝市町村単位。③二次医療圏＝埼玉県では10圏域に分け、春日部市以南、さいたま市や川口市より東側の地域は、人口120万人の東部医療圏と呼ばれています。④三次医療圏＝埼玉県全域が対象で高度特殊医療機関の配置などを検討。

■当院の立ち位置

当院利用者は、越谷市、春日部市、草加市、松伏町などにまたがっております。従って、二次医療圏の一つである東部医療圏に位置する回復期のリハビリテーションを担う病院とすることになります。急性期、回復期、慢性期に分けられる医療機能の分化と言う切り口から見た場合は、文字通り回復期に位置します。因みに、回復期機能病床は、リハビリテーション病床と地域包括ケア病床に分かれております。東部医療圏では、今、国や県の裁

量で、回復期病床を主な対象として450床を公募しています。この公募に対して630床の応募がありました。今月中に450床に絞り込まれ、病院名や各病院の病床数が公表されることになっています。回復期機能病床の増加で当院を取り巻く環境は競合病院が増え「競争」が激しくなるものと思われま

■選ばれるリハ病院であり続けるために

今一度初心に戻り、当院の運営基本方針を確認し、それを確実に忠実に実行しなければなりません。以下に運営基本方針を記します。

《患者さんの立場から》

- ①療養しやすい明るい快適な環境の提供（設備の整った病院、奇麗な病院、懇切丁寧な対応などを含む）
- ②最高レベルのリハビリ医療の提供（現在既にリハビリ治療結果は全国でも上位に位置するが、更なる向上）
- ③曖昧な名目での入院費用徴収の禁止

《職員の立場から》

- ①仕事をしやすい明るい快適な環境の提供
- ②勉強（研修・研究）しやすい自由闊達な環境の提供
- ③仕事内容等（リハビリ技術、研修・研究内容などを含む）に見合った処遇

今年も各部署の代表者で構成され、毎月開催している「臨床戦略委員会」などで「患者さんのための病院」について議論し実行する様頑張っております。

ケアマネジャーって何するの？

指定居宅介護支援事業所敬愛 主任介護支援専門員 山田 京子

《ケアマネジャーとは》

ケアマネジャーは、正式名称を「介護支援専門員」といい、2000年4月に介護保険制度が導入された際に誕生した資格です。医療、福祉、保健にかかわる仕事に一定期間従事し試験合格後に実務研修を修了することで与えられる資格です。

《ケアマネジャーの役割》

介護保険法に基づき、介護認定を受けた要介護の方やそのご家族からの相談に応じ、要介護の方ができる限り自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況や生活環境等に応じた適切な介護サービスを利用できるよう介護サービス提供事業所等と連絡調整を行い、支援する役割を担っています。

《具体的な業務内容》

①要介護認定に関する業務

介護認定の手続きや更新申請の代行、市町村からの委託を受け介護認定を受ける方の訪問調査も行います。

②ケアプラン作成に関する業務

生活全般に関わる課題の情報収集、分析を行い、要介護のご本人、ご家族の意向を尊重した居宅サービス計画書(ケアプラン)を作成します。介護サービス提供事業所等との橋渡しや連絡調整、実施管理を行います。また介護サービス提供状況の継続的な把握、評価を行います。

③給付管理に関する業務

在宅での介護サービスでは要介護度に応じて利用できる限度額が決められています。その範囲内で介護サービスを利用する場合

の自己負担は1割（一定以上の所得者は2割、3割）です。一ヵ月間に利用予定の介護サービスと実際に提供された介護サービスをチェックし給付管理票を作成し、適正・確実な介護給付費請求手続きを行います。

《介護サービスを利用するには》

要介護認定の結果が出て介護サービスを利用する場合は、まずケアマネジャーに連絡してください。ケアマネジャーはお住まいの地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に在籍し、次のとおり担当が分かれています。

要支援1・2の方 → 地域包括支援センター
要介護1～5の方 → 居宅介護支援事業所
居宅介護支援事業所は、お住いの地域包括支援センターでも紹介を受けることができます。

《当事業所の体制》

当事業所は、リハビリテーション天草病院内に併設されており、現在、主任介護支援専門員2名、介護支援専門員2名の計4名体制で行っています。サービスを提供する地域は越谷市、春日部市、松伏町、さいたま市岩槻区です。当事業所は、リハビリ専門職と密に連携し、住宅改修や福祉用具の選定等も数多く行っていますので、是非お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】

指定居宅介護支援事業所 敬愛

電話：048-974-1181

FAX：048-974-1182

「何が起きるかわからない」

春日部市 茂呂 泰子

その日は、特別な事もなく何時ものように過ぎようとしていました。5月24日木曜日。仕事から帰宅して、洗い物をする主人に一声掛けるとゆっくり振り向きました（退職後は有難い事に家事を仕切ってくれていました）。その時、異変が起きました。主人の顔の半分が異様に下がっており口も回りません。体が揺れていました。私は、咄嗟に脳の病気を思い出し、その場に座らせ救急車を呼びました。

青天の霹靂とはこのことです。まさか元気な主人が倒れるとは思ってもみない事でした。秀和総合病院からリハビリテーション天草病院に転院した当初、主人は寝返りもままなりませんでした。車椅子も安定して乗れません。そんな中、私はずっと一つの事を考えていました。もう一度日常生活の中に家族の一員として主人を取り戻したい。食卓を囲みたい。そんな思いから足繁くりハビリテーション天草病院に通っていますが、幸いなことにリハビリテーション天草病院の徹底したシステムと各先生方、療法士の方々の心のこもったリハビリのお陰で主人の体はメキメキと快方に向かっています。ほとんど奇跡です。初めて主人が一人で立つのを見た時も杖をつけて歩くのを見た時も信じられない思いでした。そして、今主人は一人で歩いています。その歩みはまだ頼りないですが、日一日と確かなものになっています。家族と食卓を囲む日が近くなってきたようです。

(投稿日 平成30年8月30日)

「心温まるリハビリ」

杉戸町 冬頭 加代子

今年の5月18日、主人が脳梗塞で突然動けなくなり、急性期を終え6月14日にリハビリテーション天草病院に転院してきました。

脳梗塞は二度目です。一度目の時には少々呂律が回らない程度で入院する事もなく投薬治療のみだったので正直甘く見ていました。ところが今回は左半身麻痺。身体の自由が完全に奪われました。入院当初は、寝返りももうてず車椅子への乗り移り他、何をするのにも介助が必要でした。トイレに座る、ズボンを下ろす、普段何の意識もせずに出来た日常の動作一つ一つが出来ないのです。身体面のみならず、精神面でのダメージも相当なものでした。そんな中でも明るい看護師さん、共に入院されている患者さん達と一緒に食事をしたり何気ない会話をしたりする中で、次第に主人の心もほぐれリハビリにも力が入っていききました。また、何よりも驚いたのはリハビリの質の高さです。各リハビリの先生方、個性豊かで疑問があった時は親切丁寧に身体の仕組み等、素人の私共にも分かりやすく説明してくれます。入院生活が長くなると生身の人間ですから落ち込む時もあります。そんな時も穏やかにゆっくりと話を聞いてくれ希望を持てるようサポートして下さいました。先生方の体力、精神は大丈夫なのでしょうか？たくさんスタッフの皆さんのおかげで主人もようやく歩行器や杖を使い退院に向けて準備も着々と進んでいます。

どうかこれからも地域に愛されるリハビリ病院として中核を担い、より一層質の高いリハビリを続けていってください。スタッフの皆様には感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。皆様方もお身体、大

切にしてください。

(投稿日 平成30年9月19日)

「三つの病院に入院して」

杉戸町 平田 正一

私は、高校のクラス会に出席するため北海道苫小牧に行き、そこの病院で脳梗塞と診断され入院。歩いて病院に行ったのにまさか右手足が麻痺してしまうとは思いませんでした。入院当初、食事は箸で三日目の夜にはスプーン、その次の日には右手は麻痺したので左手でスプーンでした。もちろん右足も同様です。それからはトイレに行くときには看護師さんに車椅子に乗せてもらう状態になりました。一日中、看護師さんに頼らなくては何も出来なく恐縮していましたがある日、看護師さんに遠慮なくドンドン使ってくださいと笑顔で言われて気が楽になりました。そして入院二週間後、リハビリ専門病院に転院しました。

そこでは作業療法士さん、理学療法士さんとのリハビリと自主トレの日々で、楽しいのは看護師さんや介護士さんとの明るい笑顔での会話。笑って一言二言の会話ですが、それがその頃の私を寂しさから元気づけるものでした。そして三ヶ月入院し、今度は北海道苫小牧から我が家がある埼玉のリハビリテーション天草病院へ転院しました。その頃には、右手は力が入り、大分回復していましたが右足は、まだまだの状態です。空港のエスカレーターに乗るのが恐いなあと思いました。

天草病院へ着いての第一印象はゴミ等がなく清掃が行き届いて清潔な病院の印象を受けました。私が入院する二階でも同様でした。その時、廊下の絵画が何で飾ってあるのだろうと気になっていました。それが、入院患者の気持ちを癒してくれる事が二週間後位で分

かりました。朝の自主トレで一階を歩く練習の時、ふと廊下の絵画に目が留まり心を安らかにしてくれることに気が付きました。天草病院に一ヶ月半ほど入院して気が付いたことは、どの病院でも患者を穏やかにあるいは塞ぎがちの心を癒してくれるのは、看護師さんや介護士さんの笑顔と楽しい会話であると感じました。今の私は、医師、作業療法士、理学療法士、看護師、介護士さんの助けがあり右手は普通まで回復し、右足は杖なしで歩くことが出来るまでに回復しました。感謝申し上げます。有難うございました。

(投稿日 平成30年11月22日)

感謝の声 (投書箱より)

長きにわたり入院させて頂きリハビリを受けさせて頂きました。家族としては、全快を希望しつつも現実問題は無理だと自分に言い聞かせていました。間もなく退院となりますが、入院時とは比べ物にならない程回復しています。これもひとえに、各リハビリの先生方、看護師をはじめとする各職員の皆様のお陰と心から感謝、お礼を申し上げます。

貴院は担当のリハビリの先生がお休みでもきちんと患者の状況を把握した代わりに先生がリハビリをして下さる情報共有のすごさに感動しました。担当ではない先生方からもリハビリ室や廊下で声を掛けて頂いた時はびっくりしましたし、また嬉しかったです。一人一人の患者に対してリハビリの先生、看護師さんが「チーム天草」となって対応して下さっているのがよく感じ取れました。今後は他施設にて引き続きリハビリを受けながら在宅、社会復帰へと目指していきます。本当にお世話になりました。(C病棟 患者様ご家族より)

歯科部のリニューアル工事完成

リハビリテーション天草病院 事務長 大塚 尚行

当院は医科・歯科連携のもと、「口から食べることの楽しみ」を与えられるよう口腔ケアや摂食嚥下機能療法に積極的に取り組んでいます。口腔機能の回復は、食べる・味わう・話す・表情をつくるなど生活の質向上に結び付きます。リハビリにおける歯科の重要性を考え将来的な展開を見据えながら、歯科エリアの全面リニューアル工事を進め、平成30年12月に完成しましたのでご紹介します。

今回の工事は、専門の歯科医師が嚥下造影検査や嚥下内視鏡を行うなど積極的に嚥下障害に対するリハビリを進め、かつ歯科独自の視点で、義歯や嚙み合わせの調整、虫歯・歯周病のケアによる咀嚼機能の回復も並行して行える環境を充実させたものであります。当院は、今後も患者さんに療養し易く明るい快適な環境を提供し、医療の質向上に努めていく所存ですので、是非ご期待ください。



《歯科待合スペース》



《歯科診療室》



《歯科受付》



《嚥下造影検査室》

地域包括支援センター桜井の活動報告

地域包括支援センター桜井 主任介護支援専門員 岡田 秋子

地域包括支援センターは、各自治体が設置する高齢者の総合相談窓口となります。越谷市の場合は、市の地域包括ケア推進課に地域包括総合支援センターが設置され、他に市内13地区を医療法人や社会福祉法人等に業務委託をすることで11カ所の地域包括支援センターが設置されています。

私たち地域包括支援センター桜井は、市内北部に位置します桜井地区（平方・平方南・大泊・上間久里・下間久里・千間台東・大里）を担当しており、桜井地区センター・公民館「あすばる」1階に事務所を構えています。

地域包括支援センターには高齢者に関わる様々な相談に対応できるよう、保健医療・福祉・介護の専門職として3職種（保健師又は看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員）が配置されており、主に下記の4つの活動を積極的に行っています。

①総合相談

健康、介護、生活のことなど、高齢者の方の暮らしの中で生じる不安や様々なお困りごとに対し、来所や電話、訪問にて相談を受け付けています。相談者はご本人・ご家族が多いですが、病院やクリニックの医療機関、その他民生委員や近隣の方々、ケアマネジャーなど地域で見守っている様々な方も変化に気付き、ご本人に代わって相談をしていただいています。

②権利擁護

消費者被害や成年後見制度の紹介、高齢者虐待に関わる相談など、高齢者の権利を守る

ための支援を関係機関と連携を図りながら行っています。近隣の方からの通報で高齢者虐待が発見される場合もありますので、気になる方が地域にいらっしゃいましたら匿名でも構いませんのでご相談下さい。

③介護予防ケアマネジメント

介護保険で「要支援1・2」と認定された方または基本チェックリストにより「事業対象者」と判定された方の介護予防ケアプランを作成します。また、介護が必要な状態にならないよう越谷市が実施する介護予防事業や地域における通いの場（サロンや趣味活動の場）の紹介等も行っています。

④包括的・継続的ケアマネジメント

高齢者やその家族を見守り、支えていくための地域のネットワーク構築を進めています。地区内で活動される団体（自治会・老人会・サロン・民生委員等）や医療機関、介護施設等とも顔の見える関係づくりができるよう、当事業所では職員の担当地区を決めて地域を回るようにしています。

最後になりますが、「介護が必要な状態でも自分らしく生活していきたい」「健康に留意し、地域に貢献して充実した日々を送っていきたい」「介護が辛い、どこに相談したらいいのかわからない」など、お一人お一人の置かれている立場や状況は違います。当事業所では、これからも様々な思いに寄り添った活動を心掛けていきますので、どうぞお気軽にご相談下さい。

【お問合せ先 電話：048-970-2015】

編 集 手 帳



＊今年の元日も病院の窓から富士山の勇姿を眺めることができました。富士山は私たちに「大きく伸びよ」と呼びかけています。今年は元号が変わり時代の節目となります。日本は大きく育んでいくのでしょうか。本格的な少子高齢化・人口減少時代を迎え、政治や経済などに不安はあるものの大きく伸びなければ、日本崩壊元年になってしまいます。国民ひとり一人が愛国心を持って、夢や理想を抱きながら、一步一步前進していかなければならないと思います。「夢無き者に成功無し」。

＊医療界・介護界にも猛烈な嵐が吹き荒れま。国の財源不足、介護職などの人手不足等々、今迄に経験したことがない超大型台風の来襲です。しかし、私は日本人は「忍耐力」「絆」では世界の中で極めて秀でていて信じていますので、この難局を乗り越えること

は可能であると思います。医療財源不足では痛みを伴いますが消費税の増税、受益者負担の増額、人手不足には既に外国人労働者の導入が決定し、何とか切り抜けようとしています。野党は、いつものように対案を示すことなく「場当たりの対応」と批判しますが、世界で初めての超高齢社会国家となるので、お手本となる国がありません。因みに、日本の医療や介護保険制度は世界に冠たるものとして評価されています。私は良い国に生まれ本当に幸せだと日々感謝の気持ちで一杯です。

(理事長天草大陸)

当法人施設が取得する 第三者評価認証

患者さんが病院を評価するには、その病院自身の「自己紹介」も参考になりますが、第三者の評価も重要です。当院では「病院機能評価機構」と「ISO」の認証を取得しています。なお、老人保健施設でも「ISO」の認定を受けています。



表紙のことば

表紙写真は、入院している患者様が生活リハビリの一環で作成した、切り絵です。皆さんで協力して作成しました。

新年に因んで、今年の干支である亥が描かれています。亥の縁起話として、猪の肉は万病に効果があるとされていることから、「無病息災の象徴」とされています。また、猪突猛進という言葉もあるように、目標に向かって猛進していく人を助けるとされています。

諸説ありますが、縁起話や言い伝えを信じることで、今年一年より良く過ごせるきっかけにしてもらえれば幸いです。

(C病棟スタッフより)